

介護保険制度の根幹壊す新総合事業への移行は中止を 上越市では通所型サービスの7割が「安上がり」に移行

介護保険法の改悪で昨年4月から始まった「新総合事業」に対する批判、疑問の声が高まっています。

同事業は、「要支援」と認定された人の通所・訪問介護を介護保険給付から切り離し、自治体の独自事業へと移すものです。これによって国は、要支援者にたいする給付費を抑制することをねらいとしています。

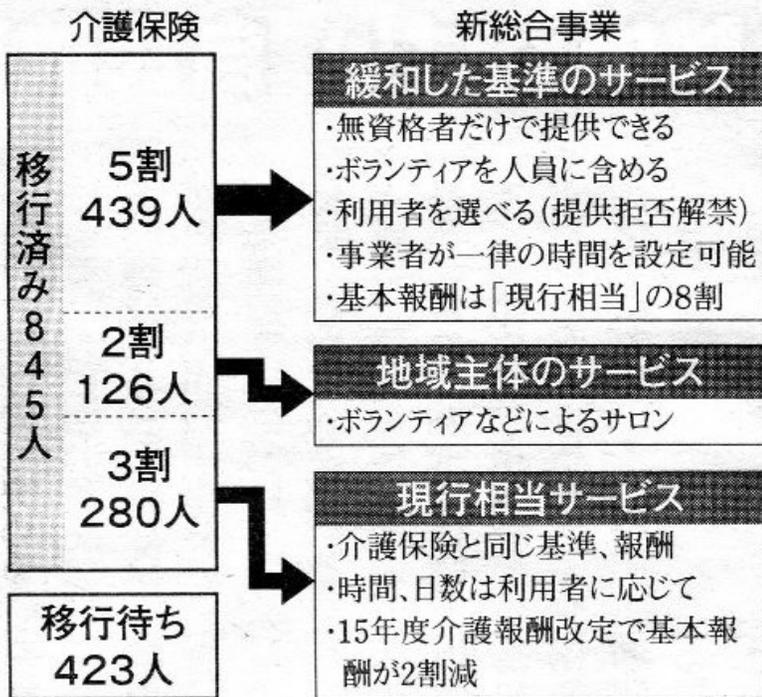
国は新総合事業の事業費に上限を設け、必要な財源をカットしてはいますが、その結果、「自治体は『一般財源の投入等』（自治体向け勉強会説明資料）を迫られ、それを避けようとするれば、『追い出し』や『安上がりサービス』へと駆り立てられます」（「しんぶん赤旗」日曜版1月31日号）。

左表をご覧ください。上越市では全国に先駆けて新総合事業への移行を昨年4月から実施、通所サービスの7割が「安上がりサービス」へと移行しています。いままでと同じ基準のデイサービスは全体の約3割に激減しました。数値は昨年11月時点のものです。

新総合事業のうち、最も多くなっている「緩和した基準のサービス」では、「無資格者だけで提供できる」「ボランティアを人員に含める」など、人員基準の緩和や運営基準の緩和をしています。レポートで既報のように、市内の事業所では経営面で打撃を受けるなどの矛盾も広がっています。

新総合事業への移行によるサービスの質の低下、「事業の効率化」は必要な時に必要なサービスを受けられるという保険制度の根幹を壊すものです。新総合事業の実施をやるめるよう国に求め、必要なサービスを提供できる仕組みにしていかなければなりません。

通所型サービスの7割が「安上がり」に (新潟県上越市、人数と割合は昨年11月時点)



市民連合@新潟の アピールに伝えよう

市民連合@新潟の「アピール」は、昨年暮れ、新潟でも、参院選に向け、安保法制の廃止と立憲主義の回復を公約に掲げる野党統一候補擁立のための「市民連合」が結成されました。

正式名称は「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める新潟市民連合」で、略称は「市民連合@新潟」です。同連合は、参院選での野党統一候補の擁立を求めるアピールを発表し、結成の会見後、全野党に要請しました。

アピールでは、野党が多数派になることが不可欠で、新潟から安保法制廃止の公約を明確にした統一候補実現で野党が結束し、国民と力を合わせて、立憲主義と民主主義を取り戻さなければならぬと強調しています。

この呼びかけに呼応して、県内各地で安保法制廃止を求める統一署名運動とともに、「野党は統一候補擁立を」の動きが広まりつつありますが、上越でも、「戦争法No!」上越実行委員会が討論集会を開くなど、その取組が始まりました。参院選までの遅くない時期に統一候補を実現させたいものです。

14日に「新春の集い」

日本共産党はしづめ法一復援会主催の恒例の「新春の集い」が14日、午後1時から吉川多目的集会場において開かれます。

第1部は藤野やすみ衆院議員の国会報告、はしづめ法一の市政報告が中心。第2部は歌や踊り、クイズなどを楽しまします。参加を希望される方は10日までに最寄りの「しんぶん赤旗」の配達員または直接、橋爪（携帯090-5392-1961）までお申し込みください。

会費は1人1000円。飲食物の持ち込みは大歓迎です。希望者には送迎もします。



【ブルーベリー】ブルーベリーはいつもだと春に白い花を咲かせます。暖冬の影響でしょうか、吉川区旭地区のある家の玄関先で花が咲いているのを見て、びっくりしました。先月31日撮影しました。

はしづめ法一の 活動レポート

No.1743 2016.2.7
発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三九一回 赤いバラ

冬に咲く一輪の赤いバラと出合い、その花をめぐる素敵なエピソードをお聴きする機会に恵まれました。一月の最後の日のことです。

その日、私は吉川区内のある集落でバラ配布をしていました。Yさん宅を訪れたとき、玄関ドアの外側を囲った場所に赤いバラが咲いているのを見つけ、惚れ惚れしてしまいました。花の大きさは直径一〇センチほど、一つひとつの花びらが落ち着いた赤い色に染まっています、じつに見事だったのです。

バラを渡して、外へ出る間際、「そのバラ、寒いがに、よくきれいに咲きましたね」と言うと、八〇代のお母さんが私に語ってくださいました。

「昨年、娘が会社で定年になってね、お祝いにたくさんのお花をもらったんですわ。このバラは娘からもらったもんをじいちゃんが挿(さ)し木してさね、そしたら咲いたんです。びっくりしましたわ」

バラについて語るお母さんのうれしそうな顔を見て、私は、赤いバラが咲くまでにはきつというんなドラマがあったに違いない、もつと詳しく話を聴きたいと思いました。そして翌日の午前、Yさん宅を再び訪ねました。

話は昨年の五月末までさかのぼります。Yさんの娘さんであるA子さんは昨年の五月に定年を迎え、長年勤めていた柿崎区内の会社を辞めました。A子さんは辞職する日、会社の同僚などからユリやバラなどがたくさん入った花束をいくつももらいました。

両親が大の花好きであることを知っているA子さんは数日後、実家を訪ねました。「退職して花をいっぱいもらったし、おまんたも飾んない」と言って花束を渡すと、お母さんはすぐに仏壇のところへ持って行き、「ばあちゃん、いいかね、A子退職したでね」と報告しました。仏壇の中のおばあちゃんA子さんにとって、子どもの頃、田植えの仕方を教えてもらおうなどとても大事な人でした。

花束はしばらく仏壇に飾り、その後、玄関のところに移したというのでした。バラの花が終わりに近づいたころ、Yさんは挿し木をしてみようと思いい立ちます。六月のある日、赤いバラを選んで、土をいっぱい入れた大きな鉢に挿しました。

挿し木をしてからはどうなるかが気になります。発根剤を塗って挿したので、根が出るかどうかは心配していませんが、つぼみが膨らみ始めてからは、Yさんは毎日観察を続けます。玄関のところが寒いと感じれば、日が照っているときには外に出してやり、日が陰ればしまふなど一生懸命世話をしてきました。

Yさんのバラのつぼみはなかなか開きませんでした。待てども待てども咲かない日が続くなか、あきらめの気持ちも生まれました。Yさんのお連れ合いは、「寒に向かつて、なして咲くと……」とも言ったといいます。

バラのつぼみが赤みを帯び、花を開かせ始めたのは一月下旬です。Yさんは花を咲かせたバラを見て、「やはり、生きもんだと思つた。世話をすれば世話をしただけの価値はある」と大喜びしました。私はYさんが以前、春の山野草、コシノコバイモの花をたくさん咲かせたことを知っています。花を咲かせたい執念が今回も実りました。

花束を両親にプレゼントしたA子さんは実家から車で五分のところの嫁いでいます。A子さんも両親と同じく花が大好きです。つぼみの段階は見ているけれども、バラが咲いている姿はまだ見ていないといいます。ひよつとしたら、この文章を読んで、実家へ飛んで行くことになるかも知れません。親子でどんな顔をして喜びあうのでしょうか。

雪の中、甘利前大臣の口利き疑惑解明訴える

またしても発覚した金の力による不正疑惑。安倍首相の盟友、甘利明前経済再生相が独立行政法人・都市再生機構との補償交渉で口利きをし、業者から約1200万円を受け取ったとの疑惑が浮上しています。

私は先月29日、今月2日とこの問題を取り上げ、街頭宣伝に立ちました。あっせん利得処罰法では、国会議員や秘書が、国や都市再生機構のような法人の契約などで口利きをし、報酬をもらうことを禁じています。違反すれば、国会議員は3年以下の懲役、秘書は2年以下の懲役です。

私は今回の疑惑解明のために国会が全力をあげるよう求めるとともに、金の力で政治をゆがめるもとになっている企業献金・団体献金の禁止をすべきだと訴えました。



めるともになっている企業献金・団体献金の禁止をすべきだと訴えました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月27日(水)	2月3日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.040	0.057
新井消防署	0.043	0.040
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.053	0.057
東頸消防署	0.050	0.060
高士分遣所	0.060	0.050
名立分遣所	0.053	0.057

美味しい醤油の実

先日、大島区で「醤油の実」づくりをしているところを見せてもらい、食べたそうな顔をしていたら、瓶詰めされた「醤油の実」をいただきました。

家に持って帰り、母に見せたところ、「まあ、いいもんもらったなあ。しょっぺくて、うんめがど」と大喜び、毎日のご飯にのせて食べています。もちろん、私もいただきました。はまりそうです。



ただ、どういうわけか、私にはこの味の記憶がありません。食べたのは今回が初めてかも。